わかはとのけんきゅう
秋大附特支

研究部だより No.2

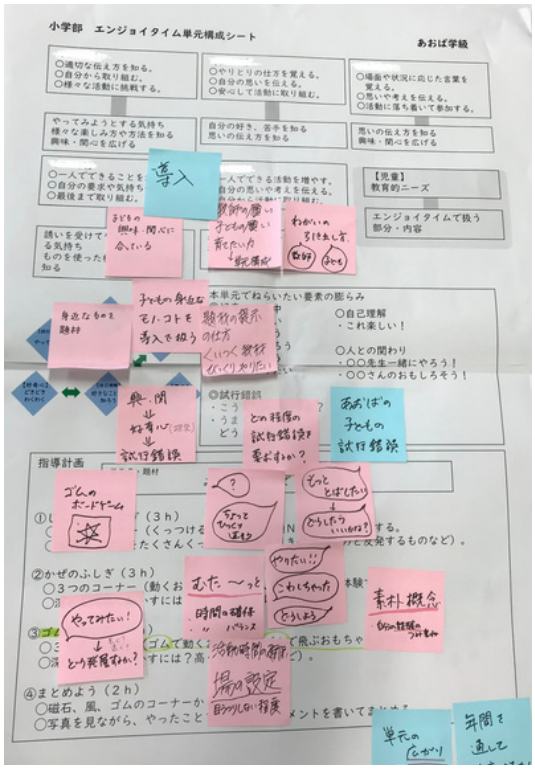
令和4年5月発行

研究主題
新しい時代で学び続ける児童生徒を育てる
～「生涯学習力」を高める授業づくりを通して～

つながりミーティング

今年度は、児童生徒の「生涯学習力」を高める授業づくりを進めていくことが本研究の目的である。
学部の枠を越えた全校縦割りで様々な意見、アイディアを出し合う単元検討会（つながりミーティング）を開催した。今回は小学部の様子についてお伝えする。

あおば　みえないちからでうごかそう



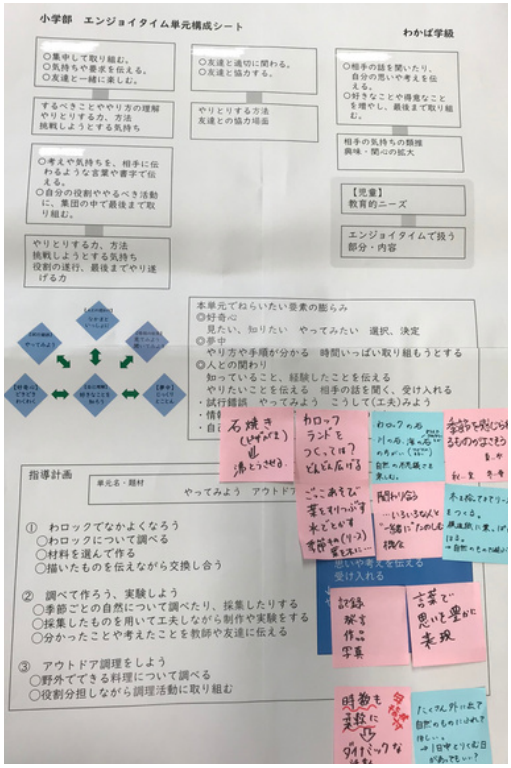
話題となった内容

- 子どもの身近なモノ・コトを導入で扱う
- 題材の提示の仕方（びっくり、やってみたい）の工夫をする
- やりたい！壊しちゃった、どうしようなどの試行錯誤する気持ち
- 興味・関心→好奇心→試行錯誤へとつながりそう
- 場の設定で、教師がつくり込みすぎず、子どもが自由に取り組める工夫をする
- うまくいかない経験をする
- 自分で作る→夢中になる
- 必然性のあるストーリーがほしい

授業者から

→素朴概念がもてるような環境や仕掛けづくりをしたい
→夢中になって活動しているときは声を掛けないなど言葉掛けのタイミングに気を付けたい

わかば　やってみよう～アウトドア～



話題となった内容

- 「わロック」ランドを作ってどんどん広げていく
- 季節を感じられるものを取り入れていく
- いろいろな人と一緒に楽しむ機会を設定する
- 「わロック」楽しい！誰かに見せたい！と思えるような展開にする
- 五感を使い、とにかく遊ぶ
- 言葉で思いを表現、教師も代弁する
- 自然の魅力を感じ取ってほしい
- 木でリースを作る、葉っぱで遊ぶなど様々な遊び方ができそう

授業者から

→活動設定の根拠となる実態把握、発達段階の整理をする
→子どもたちが感じている気持ちを言語化して表現することにつなげるフィードバックの仕方の工夫をしたい

next→ 高等部つながりミーティングをお伝えします